

# 齋賀医院壁新聞

文献情報と院内案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

## 検索ボックス



<< 2021年07月 >>

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

## 最近の記事

- (07/16) [妊娠女性におけるmRNAコロナ・ワクチンの安全性 再放送 妊娠女性におけるmRNAコロナ・ワクチンの安全性 再放送](#)
- (07/15) [ファイザーのワクチンは3回接種が必要か？](#)
- (07/13) [RSウイルスについて: Respiratory syncytial virus](#)
- (07/12) [急性細気管支炎](#)
- (07/09) [中等症以上の喘息治療は3剤併用療法が有効？](#)

## 最近のコメント

- [中等症以上の喘息治療は3剤併用療法が有効？](#) by (07/11)
- [大腸ファイバー検査の適正な間隔は？](#) by (07/07)
- [自宅療養の新型コロナ軽症患者における長期症状](#) by (07/06)
- [ファイザーのワクチンによる心筋炎](#) by (07/06)
- [ファイザーのワクチンによる心筋炎](#) by (07/05)

## タグクラウド

## カテゴリ

- 小児科(198)
- 循環器(217)
- 消化器・PPI(139)
- 感染症・衛生(224)
- 糖尿病(118)
- 喘息・呼吸器・アレルギー(95)
- インフルエンザ(105)
- 肝臓・肝炎(61)
- 薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導(47)
- 脳・神経・精神・睡眠障害(44)
- 整形外科・痛風・高尿酸血症(30)
- ワクチン(53)

<< [アストラゼネカのワクチンによる血栓症・その1](#) | [TOP](#) | [グリセミックインデクスとグリセミックロード](#) >>

2021年04月14日

## アストラゼネカのワクチンの血栓症・その2

### アストラゼネカのワクチンの血栓症・その2

Thrombotic Thrombocytopenia after ChAdOx1 nCov-19 Vaccination  
This article was published on April 9, 2021, at NEJM.org



ドイツ(とオーストリア)からの11例の報告が雑誌NEJMに掲載されています。前回のその1と、ほぼ同じ内容です。最初に報告されたindex症例を、先ずブログで紹介します。

### 1) index症例報告

49歳の女性医療関係者が、2021年2月にアストラゼネカのワクチンを接種しました。数日後に倦怠感、頭痛、筋肉痛を訴えています。5日目に悪寒、発熱、嘔吐、心窩部痛が出現し、10日目に近医を受診しています。ここで血小板減少を指摘されています。CTにて門脈、肺に塞栓症を認めています。ヘパリン療法を受けました。血小板減少は続き、心窩部痛は増悪しています。再度のCTで血栓は脾臓、腸間膜に進展しています。更に、ヘパリン療法を継続しましたが嘔吐、頻脈が激しく中断しています。繰り返されたCTで、消化管出血、腹水を認めています。接種後11日で死亡となっています。剖検により、脳内静脈血栓症を認めています。

### 2) 2021年5月15日までに、アストラゼネカのワクチン接種後、血栓症の報告が10例追加されました。

平均年齢36歳(22~49歳)  
11例中9例は女性、全員が血小板減少を伴っています。  
以前にヘパリン療法の既往はありません。  
脳内静脈血栓症; 9例、脾静脈血栓症; 3例、肺塞栓症; 3例、その他血栓症; 4例  
脳内出血により死亡例が1例

### 3) 考察

(血清学的考察は、ブログその1とほぼ同じのため割愛いたします。)  
陽イオンのPF4と、陰イオンのヘパリンの複合体に対して、血小板を活性化する抗体が産生され、それによって発症するヘパリン起因性血小板減少症と類似した病態です。ヘパリンとは無関係の薬剤やウイルス、細菌でも同様の病態が起こり、それらを、自己免疫性ヘパリン起因性血小板減少症(autoimmune heparin-induced thrombocytopenia)と命名しています。この場合は、ヘパリンにより血小板の活性化が起きますが、ヘパリンが存在しなくても、活性化は生ずるのが特徴です。ワクチン起因性免疫性血栓性血小板減少症(vaccine-induced immune thrombotic thrombocytopenia)とも記載しています。少量のヘパリンにより、その活性は抑制されます。ワクチンにより、PF-4(血小板表面にある)に対する抗体が自己免疫性機能で生じ、血小板を活性化すると考えられています。ワクチンの成分である、アデノウイルスとの関係も精査中との事です。

治療としては、免疫グロブリンの投与によって血小板活性を抑制し、その上で抗凝固薬を併用することが臨床家には安心を与えるかもしれません。我々は、vaccine-induced immune thrombotic thrombocytopenia(VITT)という疾患名を提唱します。

- [癌関係\(11\)](#)
- [脂質異常\(28\)](#)
- [甲状腺・副甲状腺\(18\)](#)
- [婦人科\(8\)](#)
- [泌尿器・腎臓・前立腺\(38\)](#)
- [熱中症\(7\)](#)
- [日記\(19\)](#)
- [その他\(70\)](#)

過去ログ

- [2021年07月\(8\)](#)
  - [2021年06月\(16\)](#)
  - [2021年05月\(16\)](#)
  - [2021年04月\(14\)](#)
  - [2021年03月\(18\)](#)
  - [2021年02月\(19\)](#)
  - [2021年01月\(16\)](#)
  - [2020年12月\(17\)](#)
  - [2020年11月\(15\)](#)
  - [2020年10月\(17\)](#)
  - [2020年09月\(19\)](#)
  - [2020年08月\(14\)](#)
  - [2020年07月\(17\)](#)
  - [2020年06月\(14\)](#)
  - [2020年05月\(21\)](#)
  - [2020年04月\(18\)](#)
  - [2020年03月\(18\)](#)
  - [2020年02月\(18\)](#)
  - [2020年01月\(19\)](#)
  - [2019年12月\(14\)](#)
  - [2019年11月\(15\)](#)
  - [2019年10月\(18\)](#)
  - [2019年09月\(18\)](#)
  - [2019年08月\(14\)](#)
  - [2019年07月\(14\)](#)
  - [2019年06月\(16\)](#)
  - [2019年05月\(14\)](#)
  - [2019年04月\(18\)](#)
  - [2019年03月\(19\)](#)
  - [2019年02月\(19\)](#)
  - [2019年01月\(15\)](#)
  - [2018年12月\(16\)](#)
  - [2018年11月\(20\)](#)
  - [2018年10月\(20\)](#)
  - [2018年09月\(18\)](#)
  - [2018年08月\(24\)](#)
  - [2018年07月\(18\)](#)
  - [2018年06月\(18\)](#)
  - [2018年05月\(20\)](#)
  - [2018年04月\(19\)](#)
  - [2018年03月\(20\)](#)
  - [2018年02月\(14\)](#)
  - [2018年01月\(14\)](#)
  - [2017年12月\(20\)](#)
  - [2017年11月\(17\)](#)
  - [2017年10月\(22\)](#)
  - [2017年09月\(18\)](#)
  - [2017年08月\(20\)](#)
  - [2017年07月\(23\)](#)
  - [2017年06月\(19\)](#)
- 以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)  
[RSS 2.0](#)

私見)

第3のワクチンとして私も大いに期待していますが、各国が、現時点でアストラゼネカワクチンを中断しているのは賢明だと思います。問題は、発生頻度もさることながら、その対応策、治療法の確立とだと思います。

[その2.pdf](#)



ブックマーク

【感染症・衛生の最新記事】

- [RSウイルスについて;Respirato..](#)
- [自宅療養の新型コロナ重症患者における長期..](#)
- [ブレイクスルー感染](#)
- [インド変異株とワクチン:その3](#)
- [インド変異株とワクチン:その2](#)

posted by 斎賀一 at 22:06 | [Comment\(2\)](#) | [感染症・衛生](#)

この記事へのコメント

ファイザーワクチンも3回目の接種についてのニュースが今朝出てましたね！

Posted by at 2021年04月16日 09:49

こんばんは。いつもup to dateの情報ありがとうございます。  
 気になっていました。アストラゼネカのワクチンについて。理由は、血栓症の報告が頻繁に報道されているからです。

現在、ファイザー社のワクチンで接種が進んでいますが、アストラゼネカのワクチンが承認されたら併用に多分なるんでしょうね。  
 その場合は、私たちはどちらのワクチンを接種するのか、選択できるようになるんでしょうか。多分そうはならないでしょうね。

アストラゼネカのワクチンでなく、出来れば、ファイザー社のワクチンを接種したいです。選択権はわがままのかな！！

Posted by at 2021年04月17日 00:17

コメントを書く

お名前:

メールアドレス:

ホームページアドレス:

コメント:

確認する    書き込む

